



令和6年度「技能検定とび1級・2級実技試験」における 不適切な事案の発生について

このたび、当協会が実施した技能検定とび1級・2級実技試験において、試験の一部見直しへの対応を誤ったまま試験を実施し、合否判定ができないという不適切な事案が発生しました。

受検者の方々はもとより、国家検定である技能検定に対する信頼を揺るがしかねない事案を発生させ、関係者及び県民の皆様にご迷惑をお詫びを申し上げます。

今般の事態を招いたことを痛切に反省し、今後の適切な試験実施に向け、再発防止に全力を尽くして参ります。

1. 対象実技試験

- ①試験名：令和6年度 技能検定 とび1級・2級 実技試験
- ②実施日：令和6年7月20日（土）・21日（日）
- ③受検者数：1級19名、2級3名 計22名

2. 事案の内容

- ◇実技試験は、全国統一の方法や基準により行うこととされているが、令和6年度「とび1級・2級」の実技試験において、一部内容の見直しが行われました。
- ◇しかし、当協会が行った令和6年度実技試験において、当該見直しへの対応に不備があり、合否を判定することができないことから、再試験を実施することとしました。

3. 事案への対応

- ◇受検者22名には、当協会から電話連絡をし、謝罪及び事態を説明のうえ、お詫びと再試験実施の文書を送付しました。
- ◇再試験は、10月下旬以降、3日間の候補日を設け、受検者の希望を調整のうえ、実施する予定です。